

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2010-88017(P2010-88017A)

【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-257170(P2008-257170)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月30日(2011.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

視点を切り替え可能な映像である視点切換可能映像を含む番組を受信可能な放送受信装置であって、

視点切換可能映像を含む番組の場合に、ユーザにより指示された視点における視点切換可能映像を出力可能な出力手段と、

視点の指示がなされた際に、指示された視点を表す情報を記憶する記憶手段と、
を有し、

前記出力手段は、視点が指示された番組内の視点切換可能映像の出力が中断された後、当該番組内の視点切換可能映像の出力が再開された場合に、該視点切換可能映像を、前記記憶手段に記憶されている前記情報で表される当該番組の視点で出力することを特徴とする放送受信装置。

【請求項2】

前記視点切換可能映像の出力の中断は、前記出力手段から視点を切り替え不可能な映像が出力されることによるものである

ことを特徴とする請求項1に記載の放送受信装置。

【請求項3】

前記視点切換可能映像の出力の中断は、前記出力手段から出力される映像が他の番組の映像へ切り換えられることによるものである

ことを特徴とする請求項1または2に記載の放送受信装置。

【請求項4】

前記視点切換可能映像の出力の中断は、前記放送受信装置の電源のON/OFFによるものである

ことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の放送受信装置。

【請求項5】

前記出力手段から、視点を切り替え不可能な映像及び視点切換可能映像を含む番組における、前記視点を切り替え不可能な映像が出力されているときに、視点の切り替え操作ができない旨のメッセージを出力するメッセージ出力手段を更に備える

ことを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の放送受信装置。

【請求項6】

視点切換可能映像の出力が再開された際に、視点切換可能映像を、前記記憶手段に記憶されている前記情報で表される番組の視点で出力するか否かを視聴者に選択させる選択手段を有する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の放送受信装置。

【請求項 7】

視点を切り替え可能な映像である視点切換可能映像を含む番組を受信可能な放送受信装置の制御方法であって、

映像を出力するステップと、

ユーザにより視点の指示がなされた際に、指示された視点を表す情報を記憶装置に記憶するステップと、

を有し、

前記映像を出力するステップでは、

視点切換可能映像を含む番組の場合に、ユーザにより指示された視点における視点切換可能映像を出力可能であり、

視点が指示された番組内の視点切換可能映像の出力が中断された後、当該番組内の始点切換映像の出力が再開された場合に、該視点切換可能映像が、前記記憶装置に記憶されている前記情報で表される当該番組の視点で出力される

ことを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の放送受信装置は、

視点を切り替え可能な映像である視点切換可能映像を含む番組を受信可能な放送受信装置であって、

視点切換可能映像を含む番組の場合に、ユーザにより指示された視点における視点切換可能映像を出力可能な出力手段と、

視点の指示がなされた際に、指示された視点を表す情報を記憶する記憶手段と、
を有し、

前記出力手段は、視点が指示された番組内の視点切換可能映像の出力が中断された後、当該番組内の視点切換可能映像の出力が再開された場合に、該視点切換可能映像を、前記記憶手段に記憶されている前記情報で表される当該番組の視点で出力することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の放送受信装置の制御方法は、

視点を切り替え可能な映像である視点切換可能映像を含む番組を受信可能な放送受信装置の制御方法であって、

映像を出力するステップと、

ユーザにより視点の指示がなされた際に、指示された視点を表す情報を記憶装置に記憶するステップと、
を有し、

前記映像を出力するステップでは、

視点切換可能映像を含む番組の場合に、ユーザにより指示された視点における視点切換可能映像を出力可能であり、

視点が指示された番組内の視点切換可能映像の出力が中断された後、当該番組内の始点切換映像の出力が再開された場合に、該視点切換可能映像が、前記記憶装置に記憶されている前記情報で表される当該番組の視点で出力される
ことを特徴とする。